

北海道胆振東部地震における医療救護活動

平成30年9月6日北海道胆振（いぶり）東部地震が発生しました。

長岡赤十字病院からは、医師・看護師・事務員で編成された医療救護チームが出動し、9月6日から11日まで札幌市や苫小牧市などで医療救護本部を支援しました。



また、9月15日から18日までは赤十字救護班として派遣され厚真町の巡回診療をおこないました。

医療機関は復旧してきていましたが、被災者の避難生活は続いており、避難所を巡回する保健師のチームや、赤十字こころのケアチームなどが継続して支援できるように連携して活動しました。



これから先も必ず起こる大災害。

ひとりでも、多くの人を救う。救うことを、つづける。

わたしたちは、苦しんでいる人たちを救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康・尊厳を守ります。